

授 業 概 要

(介護福祉学科)

科目名 ビジネスマナー	授業の種類 講義	授業担当者 山田 哲生	
実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> あり なし 介護福祉施設での勤務の経験を通して、ビジネスマナーを教授する。			
授業回数 15回	時間数(単位数) 30時間(2単位)	配当学年・時期 1学年・前期	必修・選択 必須科目
<p>[授業の目的・ねらい] 社会人、組織人としての基礎的なマナーを習得する。</p> <p>[授業全体の内容の概要] 接遇・ビジネスマナーを通じて、組織体のあり方や対人関係のあり方を学ぶとともに、組織(会社)の中でより良い人間関係を構築するためのノウハウを学ぶ。</p> <p>[授業終了時の達成課題(到達目標)] 社会人・組織人としてのマナーや態度を身につけ、介護福祉士としてチームケア及び利用者家族への配慮を習得する。</p>			
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>コマ数</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 接遇・ビジネスマナーの意義とあり方 2 身だしなみ・挨拶とお辞儀 3 言葉遣いと対人関係のあり方①(敬語の種類と使い方) 4 言葉遣いと対人関係のあり方②(間違いやすい敬語) 5 言葉遣い(接遇表現)と組織の理解 6 来客対応・接遇マナー 7 電話対応(受け取り方・取り次ぎ方) 8 指示の受け方、報告の仕方 9 慶弔の心得とマナー 10 会議の知識、文書作成(1) 11 文書作成(2) 12 文書の取り扱い、郵便の知識 13 上司との関係と報告・連絡・相談の違い 14 人柄と良識、クレーム対応 15 社会人としての一般常識、総復習 			
[使用テキスト・参考文献] ・介護福祉スタッフのマナー基本テキスト (日本能率協会マネジメントセンター) ・介護のための接遇講座(中央法規)		[単位認定の方法及び基準] ・試験またはレポートによって、総合的に評価	

授 業 概 要

(介護福祉学科)

科目名 生活文化論	授業の種類 講義	授業担当者 笛木 泰子
実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 介護福祉施設での勤務の経験を通して、生活文化論を教授する。		
授業回数 30回	時間数(単位数) 60時間(4単位)	配当学年・時期 1年生・前期
必修・選択 選択科目		
<p>[授業の目的・ねらい] 介護福祉士としての生活文化理解と共感ができる。介護を必要とする人を理解する。</p> <p>[授業全体の内容の概要] グループワークや課題などを通して、身近な歴史について理解すると同時に、高齢者の方々が昔はどのような苦勞をされていたのか理解をする。</p> <p>[授業終了時の達成課題(到達目標)] 高齢者の方の苦勞を理解することにより、共感的態度を得る。また、時代的背景を理解することにより、介護福祉士としての知識を高める。</p>		
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>コマ数</p> <p>1 オリエンテーション</p> <p>2～4 新潟の歴史を学ぶ</p> <p>5、6 みなとびあ見学(高齢者の基本的理解)</p> <p>7 みなとびあ見学のまとめ</p> <p>8、9 高齢者への昔の生活インタビュー(尊厳を支える介護)</p> <p>10、11 高齢者インタビュー 発表</p> <p>12、13 戦時中の生活について(高齢者の基本的理解)</p> <p>14、15 郷土料理と戦争中の食事について(高齢者の基本的理解)</p> <p>16、17 郷土料理の試食</p> <p>18～22 回想法について</p> <p>23～27 日本の行事について</p> <p>28、29 昔の遊び(グループワーク)</p> <p>30 まとめ</p>		
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>・ 日本民族学 福田アジオ他</p> <p>出版社名 吉川弘分館</p>		<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <p>・ 提出物、試験によって評価</p>